

磐井中学校運営支援協議会会議録

- 1 会議名 令和6年度第1回磐井中学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和6年6月13日(木)午後2時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 磐井中学校 校長室
- 4 出席者
 - (1) 委員 入駒智委員、菊池達也委員、小野寺邦芳委員、小野寺康光委員、西村慎太郎委員、澤田直哉委員、加藤清委員
 - (2) 事務局 須藤淳校長、立花公樹副校長、笠神康史主幹教諭、門下希理子教務主任、菅原隆宏教諭
- 5 議題
 - (1) 令和6年度学校経営方針
 - (2) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 議事内容
 - (1) 令和6年度学校経営方針
事務局から令和6年度学校経営方針について説明を行った。
委員 SC、SSWの活用状況はどのようなか。
事務局 SCは週1回年30回の勤務。昨年度は、保護者も含めて毎週活用されていた。SCは保護者との相談や、教員と生徒との教育相談への助言等、より多く勤務して欲しい。勤務日が増えるよう要望はしている。
事務局 SSWは月1回の勤務。SSWは案件が多く、月1回では対応できる時間が不足している。
委員 重点教科が数学となっているが、英語はどうなのか。英検の市の助成金制度は保護者として、とてもありがたかった。
事務局 助成金を受け、英検にチャレンジする生徒が多数見られた。
委員 メディアのルールは子どもだけの問題ではなく、家庭にも原因がある。望ましい状況が増えていくことで、問題が解消していけばいいのではないか。
事務局 一部生徒の登下校の際のスマホ使用は、情報提供から指導につなげている。
事務局 部活動無所属の生徒は下校時間を守って下校している。家庭での状況はわからないが問題行動はない。しかし、特色入試との関連からも、学校内の活動や部活動ではなく、自分のやりたい活動をできる機会を増やしているという、前向きな捉え方をしてほしい。
委員 「何もしてこなかった」ということのないよう、放課後や休日を生かせるように生徒への声掛けをしてほしい。

(2) その他

ア 県立高校の入試制度変更について

事務局 特色入試の「求める生徒像」は公開されているが、正式には今秋示される予定なので、情報提供にとどまっている。「多様な資質能力」のはかり方や検査の内容等、保護者にとっても戸惑う点である。

委員 きめ細かなサポートや、保護者や生徒が入試結果に納得できるような説明や指導をお願いしたい。「特色」という言葉の捉え方にもよるが、子どもたちの経験の差で、「特色」に差が出てくる。学校以外での様々な経験をさせてあげられる仕組みが必要である。

事務局 磐井中では、ボランティア活動に参加した生徒に証明書を発行するなど、生徒に積極的な参加を促している。

イ 今後の予定について

委員 次回以降の日程と内容について要望をしたい。木曜日の午後は避けてほしい。

事務局 第2回は11月中旬から12月上旬を考えている。道徳の授業を参観後、1つのテーマで熟議を行いたい。第3回は2月上旬から中旬の予定。次年度に向けての話合いを行いたい。

9 担 当 磐井中学校